

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
橋梁保全工事						式	1	1	
	舗装工					式	1	1	
		路面切削工				式	1	1	
			路面切削	As舗装 t=3cm 1.0m級切削機 1日最低保証	A=10.0m2	式	1	1	見積りによる(施工費)
			路面切削	As舗装 t=7cm 1.0m級切削機	60m2超え	m2	152.5	153	見積りによる(施工費)
			人力積込	As切削材	人力積込 土砂	m3	11.0	11	準用
			殻運搬	As切削材	土砂等運搬 現場制約有 人力 土砂等 DID無 L=16.0km以下	m3	11.0	11	準用
			殻処分	As切削材		m3	11.0	11	W=25.8t
		橋面防水工				式	1	1	
			橋面防水	塗膜防水	補修 床版排水(ドレ-)材有 39.4m/100m2 目地材有 48.9m/100m2 夜間作業補正無	m2	152.5	153	
			コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	60mm以上64mm未満, 200mm以上400mm未満	削孔径60mm 削孔長200mm程度	孔	12	12	
			床版水抜管設置	SUS304 φ48.6		箇所	12	12	見積りによる(施工費)
			床版水抜管	高機能床版排水パイプ相当	床版厚200~250mm用	本	12	12	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			フレキブル管設置	SUS304 φ20	足場有	m	26.7	27	
			フレキブル管	SUS304 φ20		m	26.7	27	
			桁固定金具	OKクランプ 相当	SUS304 φ20用(粘着貼付式) 板厚3~40mm	組	12	12	
			かしめ加工	袋ナット・パッキン付		箇所	12	12	
			孔開け加工費	10~30mm以下		箇所	4	4	見積りによる(施工費)
		舗装打換え工				式	1	1	
			基層	②密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=4cm	基層(車道・路肩部) 3.0m超 2.30以上2.40t/m3未満 避青材料無	m2	152.5	153	
			表層	⑤密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=3cm	表層(車道・路肩部) 3.0m超 2.30以上2.40t/m3未満 PK-4	m2	152.5	153	
			表層	⑤再生密粒度As(13F) t=3cm	表層(車道・路肩部) 1.4m未満 2.30以上2.40t/m3未満 PK-4	m2	10.0	10	
	区画線工					式	1	1	
		区画線工				式	1	1	
			ポイント式区画線	溶剤型 実線 W=15cm 常温	夜間補正無 豪雪補正有 時間的制約無 供用区間 白	m	65.0	65	外側線
	石・ブロック積(張)工					式	1	1	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
		作業土工				式	1	1	
			床掘り(掘削)	土砂	現場制約あり	m3	9.8	10	
			埋戻し	土砂	現場制約あり 締固め有り	m3	9.8	10	
			土材料	購入土(山土)	ルース 現着(10,000m3未満に適用)	m3	1.3	1	
			コンクリート	② 18-8-40BB	無筋・鉄筋構造物 人力打設 一般養生 現場内小運搬無	m3	1.6	2	
			型枠	一般型枠	鉄筋・無筋構造物	m2	3.4	3	
	橋梁付属物工					式	1	1	
		伸縮継手工				式	1	1	
			鋼・ゴム製伸縮装置補修	鋼製 伸縮量20mmタイプ	補修 普通型 2車線相当 夜間補正無	m	5.9	6	見積りによる(材料費)
			鋼・ゴム製伸縮装置補修	鋼製 伸縮量30mmタイプ	補修 普通型 2車線相当 夜間補正無	m	5.9	6	見積りによる(材料費)
			端部立上げジョイント	鋼製 伸縮量20mmタイプ		個	2	2	見積りによる(材料費)
			端部立上げジョイント	鋼製 伸縮量30mmタイプ		個	2	2	見積りによる(材料費)
			鋼製地覆カバープレート設置	鋼製 伸縮量20mmタイプ		箇所	2	2	見積りによる(材工共)

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			鋼製地覆カバープレート設置	鋼製 伸縮量30mmタイプ		箇所	2	2	見積りによる(材工共)
			二重止水材	SSタイプ 一般部用		個	4	4	見積りによる(材料費)
			二重止水材	SSタイプ 端部用		個	4	4	見積りによる(材料費)
			排水用コムホース	φ18		m	12.0	12	見積りによる(材料費)
			排水用コムホース止め金具	SUS430 20A		個	12	12	見積りによる(材料費)
			目地処理工			箇所	4	4	見積りによる(施工費)
			シール材	シリコン系 プライマー含む		L	1.97	2.0	
			バックアップ材	ウレタンフォーム		L	4.93	4.9	
		排水施設工				式	1	1	
			排水管	鋼管	排水管設置 足場有	m	6.7	7	
			排水管	SUS304 φ216-152 t=1.2mm	※間接工事費対象外	基	4	4	見積りによる(材料費)
			取付金具S1	SS400 t=6.0mm 溶融亜鉛メッキ	※間接工事費対象外	組	4	4	見積りによる(材料費)
			取付金具S2	SS400 t=6.0mm 溶融亜鉛メッキ	※間接工事費対象外	組	4	4	見積りによる(材料費)

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
			柵接続継手	200用	※間接工事費対象外	組	4	4	見積りによる(材料費)
		橋梁用防護柵工				式	1	1	
			防護柵部材設置(ガードレール)	ビーム		m	62.0	62	見積りによる(施工費)
			防護柵部材設置(ガードレール)	笠木		m	60.6	61	見積りによる(施工費)
			直ビーム(耐雪型)	2.3×350×4333 塗装		枚	15	15	
			袖ビーム(耐雪型)	2.3×356×660 塗装		枚	4	4	見積りによる(材料費)
			笠木	4m用 L4000 塗装		枚	14	14	見積りによる(材料費)
			笠木	2m用 L2000 塗装		枚	2	2	見積りによる(材料費)
			袖笠木	L150 塗装		枚	4	4	見積りによる(材料費)
	橋梁補修工					式	1	1	
		支承取替工				式	1	1	
			支承取替	支承形式:IV ゴム支承	下部エブラケット取付有り	基	6	6	
			ゴム支承(A1)	固定支承装置 W=188.7kg	A1 G1, G2 ※間接工事費対象外	個	2	2	見積りによる(材料費)

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
			コラム支承(A1)	固定支承装置 W=231.1kg	A1 G3 ※間接工事費対象外	個	1	1	見積りによる(材料費)
			コラム支承(A2)	可動支承装置 W=224.9kg	A2 G1 ※間接工事費対象外	個	1	1	見積りによる(材料費)
			コラム支承(A2)	可動支承装置 W=193.8kg	A2 G2, G3 ※間接工事費対象外	個	2	2	見積りによる(材料費)
			コンクリート削孔(電動式コアホーリングマシン)	30mmを超え43mm以下, 500mm以下	支承アンカー用 削孔径35mm 削孔長250mm	孔	24	24	
			アンカー	25mm以下, 下方向	支承アンカー用	本	24	24	
			注入材(材料費)	エポキシ樹脂	支承アンカー定着用	kg	2.9	2.9	
			ソールプレート	SM400A		kg	132	132	見積りによる(材料費)
			仮支点補剛材	L-100×100×10 SS400		kg	258	258	見積りによる(材料費)
			摩擦接合用高力ボルト	トルシアS10T M22×65		組	72	72	
			摩擦接合用高力ボルト	トルシアS10T M22×55		組	18	18	
			コンクリート削孔(電動式コアホーリングマシン)	43mmを超え54mm以下, 500mmを超え1000mm以下	ブラケットアンカー用 削孔径51mm 削孔長630mm	孔	48	48	
			アンカー	40mmを超え55mm以下, 横方向	ブラケットアンカー用	本	48	48	
			注入材(材料費)	エポキシ樹脂	ブラケットアンカー定着用	kg	31.5	31.5	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
			アンカーボルト	D41×700(SD345) M39		組	48	48	見積りによる(材料費)
			下部工フック取付	600kg以下		基	6	6	
			下部工フック	溶融亜鉛メッキ		t	1.8	1.8	見積りによる(材料費)
		仮受工				式	1	1	
			下部工フック撤去	600kg以下		基	6	6	
			アンカーボルトガス切断工	40mmを超え55mm以下, 横方向	下部工フック用	本	48	48	
			不陸修正工(フック背面部)			m2	3.7	4	
			フック撤去不陸樹脂処理			基	6	6	見積りによる(施工費)
			背面不陸修正樹脂	エポキシ樹脂シール材		kg	36.3	36.3	見積りによる(材料費)
		主桁補強工				式	1	1	
			芯出し調整工(鋼材面用)			m2	0.7	0.7	
			極小規模鋼桁孔明工		極小規模作業(1/2日未満)	本	32	32	
			極小規模高力ボルト本締工		極小規模作業(1/2日未満)	本	32	32	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
			摩擦接合用高力ボルト	F10T M22×75		組	16	16	
			摩擦接合用高力ボルト	F10T M22×70		組	16	16	
			補強部材取付工(撤去工)	ボルトによる補強部材 200kg以下	G≤20	部材	5	5	
			鋼桁断面補修工	エポキシ樹脂パテ材		m2	0.7	0.7	見積りによる(施工費)
			シーリング工			m	6.3	6	見積りによる(施工費)
			シーリング材	シリコン系 1成分形		L	0.4	0.4	
			補強鋼材	SM400A t=12mm t=9mm		kg	53	53	見積りによる(材料費)
			当て板補修用エポキシ樹脂			kg	3.4	3.4	見積りによる(材料費)
			極小規模現場溶接工		極小規模作業(1/2日未満)	m	2.2	2	
		ひび割れ補修工				式	1	1	
			低圧注入工法	エポキシ樹脂	1構造物当り延べ延長：25m未満	構造物	1	1	
		断面修復工				式	1	1	
			左官工法	ホリマセメントモルタル、鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1構造物当り修復延べ体積：0.019m3	構造物	1	1	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	数量		摘要
							設計数量	積算数量	
			コンクリート殻積込・運搬		DID無 L=9.5km以下 タイヤ損耗費[良好]	m3	0.019	0.019	
		表面被覆工				式	1	1	
			下地処理(表面含浸)	サンダーケレン		m2	40.4	40	見積りによる(施工費)
			含浸材塗布			m2	40.4	40	見積りによる(施工費)
			含浸材	高分子系		m2	40.4	40	
	現場塗装工					式	1	1	
		橋梁塗装工				式	1	1	
			素地調整	1種ケレン マルチメディア・ブラスト工法相当	研削材及びケレンかす回収・積込含む	m2	564.1	560	見積りによる(材工共)
			防食下地	有機ゾンクリッチハイント(1層)スプレー	下塗り 構造物別補正無 時間的制約無 昼間	m2	564.1	560	
			下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	下塗り 構造物別補正無 時間的制約無 昼間	m2	564.1	560	
			中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	構造物別補正無 時間的制約無 昼間	m2	564.1	560	
			上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	構造物別補正無 時間的制約無 昼間	m2	564.1	560	
		小規模塗装工				式	1	1	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			素地調整(高力ボルト連結部)	2種ケレン		m2	3.0	3	
			ミストコート(高力ボルト連結部)	変性エポキシ樹脂塗料		m2	3.0	3	
			ミストコート(材料費)	変性エポキシ樹脂塗料		kg	0.7	0.7	
			下塗り(高力ボルト連結部)	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗/層)		m2	6.0	6	
			下塗り(材料費)	超厚膜形エポキシ樹脂塗料		kg	3.3	3.3	
			中塗り(高力ボルト連結部)	ふっ素樹脂塗料中塗		m2	3.0	3	
			中塗り(材料費)	ふっ素樹脂塗料中塗		kg	0.6	0.6	
			上塗り(高力ボルト連結部)	ふっ素樹脂塗料上塗		m2	3.0	3	
			上塗り(材料費)	ふっ素樹脂塗料上塗		kg	0.5	0.5	
			素地調整(溶接部)	2種ケレン		m2	0.5	0.5	
			防食下地(溶接部)	有機ジンクリッチペイント		m2	0.5	0.5	
			防食下地(材料費)	有機ジンクリッチペイント		kg	0.3	0.3	
			下塗り(溶接部)	変性エポキシ樹脂塗料(2層)		m2	1.1	1.1	

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			中塗り(溶接部)	ふっ素樹脂塗料中塗		m2	0.5	0.5	
			上塗り(溶接部)	ふっ素樹脂塗料上塗		m2	0.5	0.5	
	構造物撤去工					式	1	1	
		防護柵撤去工				式	1	1	
			防護柵部材撤去(ガードレール)	ビーム		m	62.0	62	見積りによる(施工費)
			防護柵部材撤去(ガードレール)	笠木		m	60.6	61	見積りによる(施工費)
		構造物取壊し工				式	1	1	
			コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 人力施工	時間的制約無 夜間補正無	m3	1.6	2	
		排水構造物撤去工				式	1	1	
			排水管撤去	鋼管 125A		m	6.4	6.4	見積りによる(施工費)
		運搬処理工				式	1	1	
			殻運搬	Co殻(無筋)	機械積込 DID無 L=10.9km以下	m3	1.6	2	
			殻処分	Co殻(無筋)		m3	1.6	2	W=3.7t

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			殻運搬	Co殻(鉄筋)	機械積込 DID無 L=10.9km以下	m3	1.0	1	
			殻処分	Co殻(鉄筋)		m3	1.0	1	W=2.5t
			現場発生品運搬・積込・荷卸	旧塗膜片・研削材廃材	L=124km	台	1	1	見積りによる(施工費)
			現場発生品処分	旧塗膜片・研削材廃材	鉛含有 奥羽クリーンテクノロジー(株)	t	0.5	0.5	見積りによる(受入料)
			現場発生品運搬	廃プラスチック	クレーン装置付2t級、吊能力2.9t DID無 L=14.0km以下	t	0.01	0.01	
			現場発生品積込・荷卸	廃プラスチック	クレーン装置付2t級、吊能力2.9t	t	0.01	0.01	
			現場発生品処分	廃プラスチック		t	0.01	0.01	
			現場発生品運搬	鋼材	クレーン装置付2t級、吊能力2.9t DID無 L=17.0km以下	t	3.0	3	
			現場発生品積込・荷卸	鋼材	クレーン装置付2t級、吊能力2.9t	t	3.0	3	
			現場発生品処分	鋼材	※間接工事費・一般管理費対象外	t	3.0	3	見積りによる(買取料)
	鋼橋足場等設置工					式	1	1	
		橋梁足場工				式	1	1	
			主体足場	プレートガター・ボックスガター	設置・撤去・賃料	m2	153.1	150	供用期間2.6ヶ月

数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	レベル6 積算要素	単位	数 量		摘 要
							設計数量	積算数量	
			朝顔	プレートガード・ボックスガード	設置・撤去・賃料 両側朝顔	m2	153.1	150	供用期間2.6ヶ月
			板張防護		設置・撤去・賃料 両側朝顔	m2	153.1	150	供用期間2.5ヶ月
			シート張防護		設置・撤去・賃料 両側朝顔	m2	153.1	150	供用期間1.2ヶ月
			プラスト用養生シート	中段足場養生無し	設置・撤去	m2	153.1	153	
	仮設工					式	1	1	
		交通管理工				式	1	1	
			交通誘導警備員		交通誘導警備員B	人日	8	8	
共通仮設						式	1	1	
	共通仮設費					式	1	1	
		安全費				式	1	1	
			環境対策資機材費	クリーンルーム等	負圧除塵装置 エアシャワー 真空掃除機 ドラム管	式	1	1	見積りによる(材料費)
			安全衛生保護具費	呼吸用保護具等	エアラインマスク 電動ファン付呼吸用保護具 防護具	式	1	1	見積りによる(材料費)
		技術管理費				式	1	1	

舗装工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
路面切削工	$N = 1$	= 1 式
路面切削	t=3cm 1日最低保証 $A = 5.00 \times 1.00 \times 2 = 10.00$	= 1 式
路面切削	t=7cm $A = 5.00 \times 30.492 = 152.46$	= 152.5 m ²
人力積込	$V1 = 10.00 \times 0.03 = 0.30$	
	$V2 = 152.46 \times 0.07 = 10.67$	
	$\Sigma V = 0.30 + 10.67 = 10.97$	= 11.0 m ³
殻運搬 (As切削材)	V = 人力積込と同じ	= 11.0 m ³
殻処分 (As切削材)	V = 人力積込と同じ	= 11.0 m ³
	$W = 10.97 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 25.8 \text{ t}$	
橋面防水工	$N = 1$	= 1 式
橋面防水	$A = 5.00 \times 30.492 = 152.46$	= 152.5 m ²
導水パイプ (樹脂製φ15)	$L = (1.60 + 3.43 + 5.00 \times 4 + 3.65 + 1.37) \times 2 = 60.10$	
	100m ² 当たり $L = 60.1 / 152.5 \times 100 = 39.4 \text{ m}$ 取率+0.05	
成型目地材 (t=5mm、B=30mm)	$L = 30.492 \times 2 + 5.774 \times 2 + 0.25 \times 2 \times 4 = 74.53$	

舗装工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
	100m2当たり $L = 74.5 / 152.5 \times 100 = 48.9$ m 収率+0.05	
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	$N = 6 \times 2$	= 12 孔
床版水抜管設置	$N = 6 \times 2$	= 12 箇所
床版水抜管	$N = 6 \times 2$	= 12 本
フレキシブル管設置	$L = 1.50 \times 2 + 1.85 \times 2 + 2.50 \times 8 = 26.70$	= 26.7 m
フレキシブル管	$L = 1.50 \times 2 + 1.85 \times 2 + 2.50 \times 8 = 26.70$	= 26.7 m
桁固定金具	$N = 6 \times 2$	= 12 組
かしめ加工	$N = 6 \times 2$	= 12 箇所
孔開け加工費	$N = 4$	= 4 箇所
舗装打換え工	$N = 1$	= 1 式
基層	橋面部 $A = 5.00 \times 30.492 = 152.46$	= 152.5 m ²
表層	橋面部 $A = \text{基層と同じ}$	= 152.5 m ²
表層	摺付部 $A = 5.00 \times 1.00 \times 2 = 10.00$	= 10.0 m ²

橋梁付属物工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
伸縮継手工	$N = 1$	= 1 式
鋼・ゴム製伸縮装置補修	20mmタイプ $L = 5.874$	= 5.9 m
鋼・ゴム製伸縮装置補修	30mmタイプ $L = 5.874$	= 5.9 m
端部立上げジョイント	20mmタイプ $N = 2$	= 2 個
端部立上げジョイント	30mmタイプ $N = 2$	= 2 個
鋼製地覆カバープレート設置	20mmタイプ $N = 2$	= 2 箇所
鋼製地覆カバープレート設置	30mmタイプ $N = 2$	= 2 箇所
二重止水材	一般部用 $N = 2 \times 2$	= 4 個
二重止水材	端部用 $N = 2 \times 2$	= 4 個
排水用ゴムホース	$L = 3.0 \times 2 \times 2 = 12.0$	= 12.0 m
排水用ゴムホース止め金具	$N = 3 \times 2 \times 2$	= 12 個
目地処理工	$N = 2 \times 2$	= 4 箇所
シール材	$V = 0.493 \times 0.05 \times 0.02 \times 1000 \times 4 = 1.972$	= 1.97 L
バックアップ材	$V = 0.493 \times 0.05 \times 0.05 \times 1000 \times 4 = 4.930$	= 4.93 L

橋梁付属物工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
排水施設工	$N = 1$	= 1 式
排水管	$L = 1.68 \times 4 = 6.72$	= 6.7 m
排水管	SUS304 $\phi 216-152$ $t=1.2\text{mm}$ $N = 4$	= 4 基
取付金具S1	$N = 4$	= 4 組
取付金具S2	$N = 4$	= 4 組
榫接続継手	$N = 4$	= 4 組
橋梁用防護柵工	$N = 1$	= 1 式
防護柵部材設置(ガードレール)	ビーム $L = 31.0 \times 2$	= 62.0 m
防護柵部材設置(ガードレール)	笠木 $L = 30.3 \times 2$	= 60.6 m
直ビーム(耐雪型)	$N = 30.0 / 4.0 \times 2$	= 15 枚
袖ビーム(耐雪型)	$N = 1.0 / 0.5 \times 2$	= 4 枚
笠木	$N = 28.0 / 4.0 \times 2$	= 14 枚
笠木	$N = 2.0 / 2.0 \times 2$	= 2 枚
袖笠木	$N = 0.3 / 0.15 \times 2$	= 4 枚

橋梁補修工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式		数 量
支承取替工	N = 1	=	1 式
支承取替	N = 3 × 2	=	6 基
ゴム支承 (A1)	固定支承装置 W=188.7kg N = 2	=	2 個
ゴム支承 (A1)	固定支承装置 W=231.1kg N = 1	=	1 個
ゴム支承 (A2)	可動支承装置 W=224.9kg N = 1	=	1 個
ゴム支承 (A2)	可動支承装置 W=193.8kg N = 2	=	2 個
コンクリート削孔 (電動式コアホーリングマシン)	N = 4 × 3 × 2	=	24 孔
アンカー	支承アンカー用 N = 24	=	24 本
注入材 (材料費)	支承アンカー用 アンカー径25mm 削孔径35mm 削孔長250mm 注入長A1固定部 169mm A2可動部 186mm 材料収率 : 1.2		
	W = ((0.035 ² -0.025 ²) × π × 1/4 × 0.169 × 12 + (0.035 ² -0.025 ²) × π × 1/4 × 0.186 × 12) × 1200kg/m ³ × 1.2 = 2.89	=	2.9 kg
ソールプレート	SM400A	種別 寸法 長さ 員数 Kg/m Kg/個 Kg 材質 摘要	
	単位重量 : 7.85t/m ³	PL 300 × 25 300 1 58.875 17.663 18 SM400A SOLE	
		PL 330 × 25 400 1 64.763 25.905 26 SM400A SOLE	
	W = (18 + 26) × 3 = 132.0	=	132 kg

橋梁補修工 数量計算書

工種・種別	図・計算式										数量
仮支点補剛材	L-100×100×10 SS400	種別	寸法	長さ	員数	Kg/m	Kg/個	Kg	材質	摘要	
		L	100×100×10	1580	1	14.900	23.542	24	SS400	STIFF	
		L	100×100×10	1260	1	14.900	18.774	19	SS400	STIFF	
		$W = (24 + 19) \times 3 \times 2 = 258.0$									= 258 kg
摩擦接合用高力ボルト	S10T M22×65	$N = 12 \times 3 \times 2$									= 72 組
摩擦接合用高力ボルト	S10T M22×55	$N = 3 \times 3 \times 2$									= 18 組
コンクリート削孔(電動式コアホーリングマシン)		$N = 8 \times 3 \times 2$									= 48 孔
アンカー	ブラケットアンカー用	$N = 48$									= 48 本
注入材(材料費)	ブラケットアンカー定着用	アンカー径41mm 削孔径51mm 削孔長630mm 材料収率: 1.2									
		$W = ((0.051^2 - 0.041^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.63) \times 1200\text{kg/m}^3 \times 1.2 \times 48 = 31.46$									= 31.5 kg
アンカーボルト		$N = 48$									= 48 組
下部工ブラケット取付		$N = 3 \times 2$									= 6 基
下部工ブラケット	溶融亜鉛メッキ	種別	寸法	長さ	員数	Kg/m	Kg/個	Kg	材質	摘要	NET率
	支圧プレート	PL	200 × 22	200	3	34.540	6.908	21	SS400		

橋梁補修工 数量計算書

工種・種別	図・計算式										数量			
	鋼製ブラケット	PL	906	×	22	650	1	156.466	101.703	102	SM400A	BASE		
	単位重量：7.85t/m3	PL	400	×	22	650	1	69.080	44.902	45	SM400A	FLG		
		PL	200	×	22	650	1	34.540	22.451	22	SM400A	FLG		
	ブラケットリブ NET率:72%	PL	363	×	22	906	3	62.690	40.894	123	SM400A	RIB	72%	
	$W = ((102 + 45 + 22 + 123) \times 3 + 21) \times 2 = 1794.0 \times 0.001 \text{ t/kg} = 1.79 =$										1.8 t			
以下、支取替に含む(参考数量)														
油圧ジャッキ	ロック式 1000kN	N = 3 × 2 = 6 基												
沓座コンクリートはつり	A1 G1, G2	V1 = 0.653 × 1.150 × 0.080 × 2 = 0.1202												
	A1 G3	V2 = 0.653 × 1.450 × 0.080 = 0.0757												
	下沓控除	V3 = -0.055 × 0.0325 × 0.405 × 3 = -0.0022												
		V4 = -0.055 × 0.0325 × 0.080 × 2 × 3 = -0.0009												
	A2 G1	V5 = 0.628 × 1.450 × 0.080 = 0.0728												
	A2 G2, G3	V6 = 0.628 × 1.150 × 0.080 × 2 = 0.1156												
	下沓控除	V7 = -0.055 × 0.0325 × 0.405 × 3 = -0.0022												

橋梁補修工 数量計算書

工種・種別	図・計算式		数量
	$V8 = -0.055 \times 0.0325 \times 0.080 \times 2 \times 3 = -0.0009$		
	$\Sigma V = 0.38m^3$ ※処分費は、殻運搬(Co殻(鉄筋))へ		
支承撤去	鋼製支承	$N = 3 \times 2 = 6$ 基 ※処分費は、現場発生品処分(鋼材)へ	
ソールプレート撤去	SM400A	種別 寸法 長さ 員数 Kg/m Kg/個 Kg 材質 摘要	
	単位重量 : 7.85t/m ³	PL 200 × 25 240 3 39.250 9.420 28 SM400A	
		PL 200 × 25 350 3 39.250 13.738 41 SM400A	
	$W = 28 + 41 = 69$ kg ※処分費は、現場発生品処分(鋼材)へ		
無収縮モルタル	A1 G1, G2	$V1 = 0.653 \times 1.150 \times 0.113 \times 2 = 0.1697$	
	A1 G3	$V2 = 0.653 \times 1.450 \times 0.113 = 0.1070$	
	A2 G1	$V3 = 0.628 \times 1.450 \times 0.097 = 0.0883$	
	A2 G2, G3	$V4 = 0.628 \times 1.150 \times 0.097 \times 2 = 0.1401$	
	$\Sigma V = 0.51m^3$		
型枠	A1 G1, G2	$A1 = (1.150 + 0.653 \times 2) \times 0.033 \times 2 = 0.162$	
	A1 G3	$A2 = (1.450 + 0.653 \times 2) \times 0.033 = 0.091$	

橋梁補修工 数量計算書

工種・種別	図・計算式		数量
	A2 G1	$A3 = (1.450 + 0.628 \times 2) \times 0.017 = 0.046$	
	A2 G2, G3	$A4 = (1.150 + 0.628 \times 2) \times 0.017 \times 2 = 0.082$	
		$\Sigma A = 0.38m^2$	
鉄筋 SD345 D10	A1 G1, G2	$W1 = 0.560 \times 0.600 \times 22 \times 2 = 14.8$	単位重量 : 0.56kg/m
		$W2 = 0.560 \times 1.100 \times 12 \times 2 = 14.8$	
	A1 G3	$W3 = 0.560 \times 0.600 \times 28 = 9.4$	
		$W4 = 0.560 \times 1.400 \times 12 = 9.4$	
	A2 G1	$W5 = 0.560 \times 0.580 \times 28 = 9.1$	
		$W6 = 0.560 \times 1.400 \times 11 = 8.6$	
	A2 G2, G3	$W7 = 0.560 \times 0.580 \times 22 \times 2 = 14.3$	
		$W8 = 0.560 \times 1.100 \times 11 \times 2 = 13.6$	
		$\Sigma W = 94.0kg$ $W = 0.094t$	
ボルト孔明	φ24.5	$N = 72 + 18 = 90$ 孔	
現場溶接	ソールプレート設置 A1	$L1 = (0.25 \times 2 + 0.3 \times 2) \times 1面 \times 3 \times 1.78 (6mm換算率) = 5.87m$	

橋梁補修工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
	A2 L2 = (0.25 × 2 + 0.4 × 2) × 1面 × 3 × 1.78 (6mm換算率) = 6.94m	
	ΣL = 12.8m	
仮受工	N = 1	= 1 式
下部工ブラケット撤去	N = 3 × 2	= 6 基
アンカーボルトガス切断工	N = 48	= 48 本
不陸修正工(ブラケット背面部)	A = 0.95 × 0.65 × 3 × 2 = 3.71	= 3.7 m2
ブラケット撤去不陸樹脂処理	N = 3 × 2	= 6 基
背面不陸修正樹脂	W = 3.71 × 0.005 × 1.15 × 1700 = 36.27 材料収率 : 1.15 単位重量 : 1700kg/m3	= 36.3 kg
主桁補強工	N = 1	= 1 式
芯出し調整工(鋼材面用)	A1 = 0.215 × 0.80 × 2 = 0.34	
	A2 = 0.100 × 0.80 × 2 = 0.16	
	A3 = 0.227 × 0.652 = 0.15	
	ΣA = 0.34 + 0.16 + 0.15 = 0.65	= 0.7 m2
極小規模鋼桁孔明工	N = 16 + 16	= 32 本

橋梁補修工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式		数 量
極小規模高力ボルト本締工	$N = 16 + 16$		= 32 本
摩擦接合用高力ボルト	F10T M22×75	N = 16	= 16 組
摩擦接合用高力ボルト	F10T M22×70	N = 16	= 16 組
補強部材取付工(撤去工)	$N = 2 + 1 + 2$ (下フランジ 上面2部材、下フランジ 下面1部材、主桁ウェブ 2部材 53kg/5=10.6kg≤20)		= 5 部材
鋼桁断面補修工	A = 芯出し調整工(鋼材面用)と同じ		= 0.7 m ²
シーリング工	$L = 0.222 \times 4 + 0.80 \times 4 + 0.10 \times 4 + 0.227 \times 2 + 0.652 \times 2 = 6.25$		= 6.3 m
シーリング材	W = 0.4 (主桁補強工図より)		= 0.4 L
補強鋼材	種別 寸法 長さ 員数 Kg/m Kg/個 Kg 材質 摘要		
	ウェブ面	PL 215 × 9 800 2 15.190 12.152 24 SM400A WEB	
	下フランジ	PL 100 × 12 800 2 9.420 7.536 15 SM400A L-Flg	
	下フランジ	PL 227 × 12 652 1 21.383 13.942 14 SM400A L-Flg	単位重量 : 7.85t/m ³
	$W = 24 + 15 + 14 = 53.0$		= 53 kg
当て板補修用エポキシ樹脂	$W = 0.002 \times 1700 = 3.40$ 単位重量 : 1700kg/m ³ (主桁補強工図より)		= 3.4 kg
極小規模現場溶接工	$L = 0.80 \times 4 \times 0.694$ (6mm換算率) = 2.22		= 2.2 m

橋梁補修工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
ひび割れ補修工	$N = 1$ =	1 式
低圧注入工法	$N = 1$ =	1 構造物
注入材(珪砂樹脂)	材料収率：1.4 ひび割れ深さは、ひび割れ平均幅の200倍とする(コンクリートメンテナンス協会HP) $L = 5.40 \text{ m}$ (床版補修工及び下部工補修工図より) $C = 2.05 \text{ mm}$ (床版補修工及び下部工補修工図より) $C = 2.05 / 9 = 0.23 \text{ mm}$ $t = 0.23 \times 200 / 1000 = 0.05 \text{ m}$ $W = 5.40 \times 0.23 / 1000 \times 0.05 / 2 \times 1150 = 0.04 \text{ kg}$ 単位重量：1150kg/m ³ $W = 0.04 \times 1.4 = 0.056 \text{ kg}$ 材料収率計上後	
シール材	材料収率：1.37 シール材：B=30mm t=2mm(参考値) 単位重量：1700kg/m ³ $W = 5.40 \times 0.03 \times 0.002 \times 1700 = 0.6 \text{ kg}$ $W = 0.6 \times 1.37 = 0.822 \text{ kg}$ 材料収率計上後	
低圧注入器具	低圧注入器具標準設置間隔：4個/m=250mm間隔 $N = 5.40 / 0.25 = 22 \text{ 個}$	

橋梁補修工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
断面修復工	$N = 1$	= 1 式
左官工法	$N = 1$	= 1 構造物
	$V = 0.019$ (地覆補修工及び橋梁用防護柵工図より)	
材料収率計上後	$V = 0.019 \times 1.18 = 0.022 \text{ m}^3$ 材料収率 : 1.18	
コンクリート殻積込・運搬	$V = 0.019$	= 0.019 m ³
表面被覆工	$N = 1$	= 1 式
下地処理(表面含浸)	$\Sigma A = 3.11 + 3.11 + 12.31 + 12.31 + 4.71 + 4.80 = 40.35$	= 40.4 m ²
床版張出し部(G1)	$A_1 = 3.11$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
床版張出し部(G2)	$A_2 = \underline{3.11}$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
A1 胸壁	$A_3 = \underline{12.31}$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
A2 胸壁	$A_4 = \underline{12.31}$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
A1 橋座	$A_5 = \underline{4.71}$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
A2 橋座	$A_6 = \underline{4.80}$ (床版補修工及び下部工補修工図より)	
含浸材塗布	$A =$ 下地処理(表面含浸)と同じ	= 40.4 m ²

現場塗装工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
橋梁塗装工	N = 1	= 1 式
素地調整	A = 399.215 + 17.220 + 15.025 + 25.525 + 58.496 + 48.576 = 564.06	= 564.1 m2
防食下地	A = 素地調整と同じ	= 564.1 m2
下塗り	A = 素地調整と同じ	= 564.1 m2
中塗り	A = 素地調整と同じ	= 564.1 m2
上塗り	A = 素地調整と同じ	= 564.1 m2
主桁 (G1, G2, G3)	$\Sigma A = 83.113 + 100.320 + 40.462 + 104.093 + 19.918 + 51.309 = \underline{399.215}$	
G1, G2, G3	A 1 = 3.902 × 3.550 × 6 = 83.113	
G1, G2, G3	A 2 = 4.180 × 4.000 × 6 = 100.320	
G1, G3	A 3 = 4.526 × 2.235 × 4 = 40.462	
G1, G3	A 4 = 4.514 × 11.530 × 2 = 104.093	
G2	A 5 = 4.456 × 2.235 × 2 = 19.918	
G2	A 6 = 4.450 × 11.530 × 1 = 51.309	
分配横桁	$\Sigma A = 4.812 + 11.976 + 0.432 = 17.220$	

現場塗装工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
PL-240×12	A 1 = 2.406 × 2 = 4.812	
PL-1200×9	A 2 = 5.988 × 2 = 11.976	
PL-90×9×1200	A 3 = 0.216 × 2 = 0.432	
端対傾構	Σ A = 5.958 + 3.859 + 3.600 + 1.248 + 0.360 = <u>15.025</u>	
CH-250×90×9×13	A 1 = 0.662 × 2.250 × 4 = 5.958	
L-90×90×10	A 2 = 0.360 × 1.340 × 8 = 3.859	
L-100×100×10	A 3 = 0.400 × 2.250 × 4 = 3.600	
GUSS-PL 260×300×9	A 4 = 0.078 × 16 = 1.248	
GUSS-PL 242×370×9	A 5 = 0.090 × 4 = 0.360	
中間対傾構	Σ A = 14.528 + 8.093 + 1.248 + 0.864 + 0.792 = <u>25.525</u>	
L-100×100×10	A 1 = 0.800 × 2.270 × 8 = 14.528	
L-90×90×10	A 2 = 0.720 × 1.405 × 8 = 8.093	
GUSS-PL 244×360×9	A 3 = 0.078 × 16 = 1.248	
GUSS-PL 230×300×9	A 4 = 0.054 × 16 = 0.864	

現場塗装工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
GUSS-PL 239×416×9	$A_5 = 0.099 \times 8 = 0.792$	
補剛板	$\Sigma A = 3.072 + 32.384 + 7.552 + 15.488 = \underline{58.496}$	
端部 PL-120×14	$A_1 = 0.384 \times 8 = 3.072$	
中間 PL-110×9	$A_2 = 0.352 \times 92 = 32.384$	
水平 PL-100×9	$A_3 = 0.236 \times 32 = 7.552$	
水平 PL-100×9	$A_4 = 0.242 \times 64 = 15.488$	
下横構	$\Sigma A = 44.346 + 4.230 = \underline{48.576}$	
CT-118×176×8×8	$A_1 = 0.604 \times 73.420 = 44.346$	
GUSS-PL t9	$A_2 = 4.230$	
小規模塗装工	$N = 1$	= 1 式
素地調整(高力ボルト連結部)	$A = 1.08 \times 2 + 0.86 = 3.02$ (仮受け工詳細図(2)・主桁補強工図より)	= 3.0 m ²
ミストコート(高力ボルト連結部)	$A = \text{素地調整(高力ボルト連結部)と同じ}$	= 3.0 m ²
ミストコート(材料費)	$N = 3.02 \times 0.16 \text{ kg/m}^2 + 0.53 \times 2 \times 0.24 \text{ kg/m}^2 = 0.74$	= 0.7 kg
下塗り(高力ボルト連結部)	$A = 3.02 \times 2 \text{ 回塗/層} = 6.04$	= 6.0 m ²

現場塗装工 数量計算書

工 種 ・ 種 別	図 ・ 計 算 式	数 量
下塗り(材料費)	$N = 3.02 \times 1.10 \text{ kg/m}^2 = 3.32$	= 3.3 kg
中塗り(高力ボルト連結部)	A = 素地調整(高力ボルト連結部)と同じ	= 3.0 m ²
中塗り(材料費)	$N = (3.02 + 0.53) \times 0.17 \text{ kg/m}^2 = 0.60$	= 0.6 kg
上塗り(高力ボルト連結部)	A = 素地調整(高力ボルト連結部)と同じ	= 3.0 m ²
上塗り(材料費)	$N = (3.02 + 0.53) \times 0.14 \text{ kg/m}^2 = 0.50$	= 0.5 kg
素地調整(溶接部)	A = 0.23 + 0.30 = 0.53 (支取替工図(2)、(3)より)	= 0.5 m ²
防食下地(溶接部)	A = 素地調整(溶接部)と同じ	= 0.5 m ²
防食下地(材料費)	$N = 0.53 \times 0.60 \text{ kg/m}^2 = 0.32$	= 0.3 kg
下塗り(溶接部)	A = 0.53 × 2 層 = 1.06	= 1.1 m ²
中塗り(溶接部)	A = 素地調整(溶接部)と同じ	= 0.5 m ²
上塗り(溶接部)	A = 素地調整(溶接部)と同じ	= 0.5 m ²

構造物撤去工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
防護柵撤去工	$N = 1$	= 1 式
防護柵部材撤去(ガードレール)	ビーム $L = 31.0 \times 2$	= 62.0 m
防護柵部材撤去(ガードレール)	笠木 $L = 30.3 \times 2$	= 60.6 m
構造物取壊し工	$N = 1$	= 1 式
コンクリート構造物取壊し	$V = (1.02 \times 0.10 + 0.375 \times 0.15) \times 1.65 \times 6 = 1.57$ (仮受け工詳細図(1)より)	= 1.6 m ³
排水構造物撤去工	$N = 1$	= 1 式
排水管撤去	$L = 1.6 \times 4$	= 6.4 m
運搬処理工	$N = 1$	= 1 式
殻運搬(Co殻(無筋))	$V = 1.57$ (コンクリート構造物取壊しより)	= 1.6 m ³
殻処分(Co殻(無筋))	$V =$ 殻運搬(Co殻(無筋))と同じ	= 1.6 m ³
	$W = 1.57 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 3.7 \text{ t}$	
殻運搬(Co殻(鉄筋))	$\Sigma V = 0.30 + 0.28 + 0.02 + 0.02 + 0.38 = 1.00$	= 1.0 m ³
後打ちコンクリート(A1)	$V_1 = (0.45 + 0.30) \times 0.07 \times 5.774 = \underline{0.30}$	
後打ちコンクリート(A2)	$V_2 = (0.40 + 0.30) \times 0.07 \times 5.774 = 0.28$	

構造物撤去工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
地覆	$V_3 = (0.10 + 0.10) \times 0.25 \times 0.20 \times 2 = \underline{0.02}$	
地覆	$V_4 = (0.30 + 0.30) \times 0.07 \times 0.20 \times 2 = \underline{0.02}$	
沓座コンクリートはつり	$V_5 = \underline{0.38}$ (支承取替工より)	
殻処分(Co殻(鉄筋))	$V = \text{殻運搬(Co殻(鉄筋))と同じ}$	= 1.0 m ³
	$W = 1.00 \times 2.50 \text{ t/m}^3 = 2.5 \text{ t}$	
現場発生品運搬(旧塗膜片・研削材廃材)	$\Sigma W = 0.22 + 0.25 = 0.47 = 0.5 \text{ t}$	= 1 台
旧塗膜片	$W_1 = 564.06 \times 0.39 \text{ kg/m}^2 \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.22} \text{ t}$ (旧塗膜片質量 0.39kg/m ² 想定)	
研削材廃材等	$W_2 = 564.06 \times 0.45 \text{ kg/m}^2 \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.25} \text{ t}$ (研削材廃材等質量 0.45kg/m ² 想定)	
現場発生品処分(旧塗膜片・研削材廃材)	$W = \text{現場発生品運搬(旧塗膜片・研削材廃材)と同じ}$	= 0.5 t
現場発生品運搬(廃プラスチック)	$W = 5.774 \times 0.25 \times 0.005 \times 920.0 \text{ kg/m}^3 \times 2 / 1000 = 0.013$ (既設伸縮装置止水ゴム)	= 0.01 t
現場発生品積込・荷卸(廃プラスチック)	$W = \text{現場発生品運搬(廃プラスチック)と同じ}$	= 0.01 t
現場発生品処分(廃プラスチック)	$W = \text{現場発生品運搬(廃プラスチック)と同じ}$	= 0.01 t
現場発生品運搬(鋼材)	$\Sigma W = 0.28 + 0.30 + 0.07 + 1.79 + 0.10 + 0.01 + 0.24 + 0.01 + 0.18 = 2.98$	= 3.0 t
支承A1	$W_1 = 3 \times 94.6 \text{ kg/基} \times 0.001 \text{ t/kg} = 0.28 \text{ t}$ (鋼製線支承 94.6kg/基)	

構造物撤去工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
支承A2	$W 2 = 3 \times 99.8 \text{ kg/基} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.30} \text{ t}$ (鋼製線支承 99.8kg/基)	
ソールプレート	$W 3 = 69.0 \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.07} \text{ t}$	
下部エブラケット	$W 4 = 1794.0 \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{1.79} \text{ t}$	
排水管	$W 5 = 6.40 \times 15.0 \text{ kg/m} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.10} \text{ t}$ (鋼管125A 15.0kg/m)	
支持金具	$W 6 = 3.01 \times 3.53 \text{ kg/m} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.01} \text{ t}$ (平鋼t4.5×100 3.53kg/m)	
ヒール	$W 7 = 31.0 \times 7.6 \text{ kg/m} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.24} \text{ t}$ (ヒール 7.6kg/m)	
袖ヒール	$W 8 = 2.0 \times 6.5 \text{ kg/m} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.01} \text{ t}$ (袖ヒール 6.5kg/m)	
笠木	$W 9 = 30.3 \times 6.0 \text{ kg/m} \times 0.001 \text{ t/kg} = \underline{0.18} \text{ t}$ (笠木 6.0kg/m)	
現場発生品積込・荷卸(鋼材)	$W = \text{現場発生品運搬(鋼材)と同じ}$	= 3.0 t
現場発生品処分(鋼材)	$W = \text{現場発生品運搬(鋼材)と同じ}$	= 3.0 t

鋼橋足場等設置工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量															
橋梁足場工	$N = 1$	1 式															
主体足場	$A = 6.20 \times 24.690 = 153.08$	供用期間 2.6 ヶ月 = 153.1 m ²															
朝顔	A = 主体足場と同じ	供用期間 2.6 ヶ月 = 153.1 m ²															
板張防護	A = 主体足場と同じ	供用期間 2.5 ヶ月 = 153.1 m ²															
シート張防護	A = 主体足場と同じ	供用期間 1.2 ヶ月 = 153.1 m ²															
プラスチック用養生シート	A = 主体足場と同じ	= 153.1 m ²															
	プラスチック用養生シート工費 = $\{S + (N \times k_1 \times k_2) \times y\} \times A \times n$ (円)																
	S : 損料係数 739 N : 組立解体歩掛係数 0.015 y : 橋りょう特殊工単価 (円/人)																
	k ₁ : 現場環境条件による補正係数 1.0 k ₂ : 極小面積の場合の補正 1.0																
	A : プラスチック用養生シート必要面積 153.08 n : プラスチック用養生回数 1																
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">プラスチック用養生シート工(養生シート設置・撤去1回1㎡当たり)</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="2">プラスチック用養生シート</td> <td>中段足場養生無し</td> <td>739</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>中段足場養生有り</td> <td>886</td> <td>0.020</td> </tr> </table>	プラスチック用養生シート工(養生シート設置・撤去1回1㎡当たり)		S	N	種類				プラスチック用養生シート	中段足場養生無し	739	0.015	中段足場養生有り	886	0.020	
プラスチック用養生シート工(養生シート設置・撤去1回1㎡当たり)		S	N														
種類																	
プラスチック用養生シート	中段足場養生無し	739	0.015														
	中段足場養生有り	886	0.020														
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現場環境条件による補正係数(k1)</th> <th>係数</th> </tr> <tr> <th>環境</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>一般用地内・河川高水敷部等</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合</td> <td></td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>主要道路上・鉄道上</td> <td></td> <td>1.2</td> </tr> </table>	現場環境条件による補正係数(k1)		係数	環境			一般用地内・河川高水敷部等		1.0	足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合		1.1	主要道路上・鉄道上		1.2	
現場環境条件による補正係数(k1)		係数															
環境																	
一般用地内・河川高水敷部等		1.0															
足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合		1.1															
主要道路上・鉄道上		1.2															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">極小面積の場合の補正(k2)</th> <th>係数</th> </tr> <tr> <td>1箇所あたりの平均足場設置面積が50㎡未満の場合には設置撤去歩掛の補正を行う</td> <td></td> <td>1.3</td> </tr> </table>	極小面積の場合の補正(k2)		係数	1箇所あたりの平均足場設置面積が50㎡未満の場合には設置撤去歩掛の補正を行う		1.3										
極小面積の場合の補正(k2)		係数															
1箇所あたりの平均足場設置面積が50㎡未満の場合には設置撤去歩掛の補正を行う		1.3															

仮設工 数量計算書

工種・種別	図・計算式	数量
交通管理工	N = 1 =	1 式
交通誘導警備員	N = 2 人 × 4 日 =	8 人日
	※上部工（路面切削工、橋面防水工、舗装打換え工、伸縮継手工）施工時は、	
	片側通行帯が確保できないことから「全面通行止」とする。	

